



クラブインフォメーション

発行:(公財)鳥取県スポーツ協会 〒680-8570 鳥取市東町1丁目220番地 鳥取県議会棟別館内



TEL:0857-26-7802 FAX:0857-26-8133 E-mail:tabuchi-h@sports-tottori.com 令和2年10月 第134号

県民まるごとスポーツ「みんなdeユニスポ」推進事業(県委託事業)

琴の浦クラブ*みんなdeニュースポーツin琴の浦



1分プランク



3分走



ダッシュ練習



ボッチャ

令和2年9月12日(土)、鳥取県立琴の浦高等特別支援学校体育館で「みんなdeユニスポ推進事業」を開催しました。

【県民まるごとスポーツ推進事業とは】

子育て世代の県民が、身近な地域において子どもと一緒に運動・スポーツに親しむ機会、並びに年齢・性別・障がいの有無にかかわらず気軽にスポーツを楽しむ機会を通じて、県民のスポーツへの意識の高揚を図り、本県スポーツ振興に寄与する。

上田祐吉さんと中尾有香里さん(琴の浦高等特別支援学校勤務)指導の下、鳥取県立琴の浦高等特別支援学校の卒業生を中心とした11名が参加し、陸上競技とボッチャを体験しました。

【実施内容】

- ・柔軟体操
- ・1分プランク(ロー、サイド、片足、片手片足、片手片足サイド)
- ・陸上基本練習(3分走、足上げ、腿上げ、スキップ、クロス・サイドステップ、ダッシュ)
- ・ボッチャ
- ・クールダウン

卒業生は社会人になり半年が過ぎ、車を運転して来た姿に成長と頼もしさを感じ、久々に再会する仲間との会話も弾んでいました。

これからも、運動・スポーツ、コミュニケーションの場を提供できるよう、より多くの人に参加してもらえよう継続していけるといいですね。

また、一緒にこの活動を支えていただける方があって嬉しいです。

※次回は、12月12日(土)9時から開催します。
参加お待ちしております。

連絡先

琴の浦クラブ事務局

上田 祐吉

TEL:0858-55-6477

E-mail:kotonoura-s@mailk.torikyo.ed.jp

青谷スポーツクラブ*あおやまるごとスポーツ体験会



スナッグゴルフ



ディスクゲッター



カローリング



ミニトランポリン

【県民まるごとスポーツ推進事業】:子育て世代の県民が、身近な地域において子どもと一緒に運動・スポーツに親しむ機会、並びに年齢・性別・障がいの有無にかかわらず気軽にスポーツを楽しむ機会を通じて、県民のスポーツへの意識の高揚を図り、本県スポーツ振興に寄与することの一環として、青谷スポーツクラブでは、令和2年9月20日(日)、青谷町農林漁業者トレーニングセンターで「親子deスポーツ推進事業」を開催しました。

【参加者】

青谷地域住民:39名(大人21名、子ども18名)

【実施種目】

- ・トランポ・ロビックス(指導者:磯邊栄里氏)
- ・スナッグゴルフ(指導者:青谷スポーツクラブ STAFF)
- ・ディスクゲッター(指導者:青谷スポーツクラブ STAFF)
- ・カローリング(指導者:青谷スポーツクラブ STAFF)

どの種目も皆さんが楽しく体験されましたが、この事業をきっかけに、トランポ・ロビックスの定期教室開催回数増による1回/週以上のスポーツ実施率向上や、来年度に向けて、青谷町内の地区公民館との更なる連携によりスポーツ人口の増加に繋がっていきたいと思っています。

【参加者の声】

- ・普段全く運動できていないので、こういう機会があると嬉しい。定期的に開催してほしいです。
- ・家にミニトランポリンはあるのですが、使い方がわからず、ただ弾んでいるだけでしたが、参加して色々な使い方があることがわかり良かったです。
- ・トランポリンを弾む感覚は普段味わえないので、良い機会でした。



集合写真

連絡先
青谷スポーツクラブ事務局
長谷川 和郎
TEL:080-5616-8145
E-mail:k_hasegawa@ncn-t.net

一般社団法人ほうきスマイリースポーツクラブ*親子でカヌーに乗ろう！



艇庫から池まで運びます



パドルの漕ぎ方を指導



出発します



気持ちよかった～！



池の上での集合写真

令和2年9月26日(土)、赤松の池(大山町)で「親子deスポーツ推進事業」が開催されました。

参加者は最近2週間及び今日の健康状態を確認する、健康チェック表を提出し、検温・マスク確認を行いました。

当日あいにくの雨でしたが、大人13名、子ども13名に参加いただき「カヌー」を体験していただきました。

カヌーは、参加者全員で艇庫から池まで何往復かして運びました。

最初に、潮 純一さん(大山青年自然の家職員)から、この池は神社の中にある神聖な池であることから、4つの注意事項の説明がありました。

- ① 池に石を投げない。
- ② 池のほとりで水遊びをしない。
- ③ 社の上に乗らない。
- ④ 祠の前にある大きな石(お供え物を置く石)に乗らない。

カヌーに乗る前に、真島祐二さん(元国体選手)から、パドルの持ち方、漕ぎ方、艇への乗り降りの仕方の指導を受けた後、1人乗り用(小学4年生以上)、2人乗り用(小学1～3年生と保護者)に乗り、実際に池でカヌーを操っていただきました。

1人乗り用の艇は、ボトムが丸みを帯びていたため少し不安定で真っすぐ進むのが難しそうでしたが、すぐに慣れて思い通りに漕げるようになり、水上での移動を楽しんでいました。

途中水分補給のため陸上に上がり少し休憩を取りました。

みんな雨でびしょ濡れ状態でしたが、後半も元気よくカヌーで水面を切って走りました。

【参加者の声】

・雨の中でしたが、自然相手のスポーツなので、これはこれで良かったです。次回晴れたときに乗れたら、また違った気持ちでできるので、楽しみです。

・こんな機会がないと、カヌーを体験できることが無いので良い機会でした。

・子どもと一緒にカヌー体験できて、親子共良い思い出になりました。

・最初は見学していましたが、みんな楽しそうだったので、後半挑戦しました。挑戦して楽しさがわかって良かったです。

カヌーはなかなかできるスポーツではないので、次回開催の際は、水面を切って走る爽快感を体験してみてください。

連絡先

一般社団法人ほうきスマイリースポーツクラブ事務局

景山 弥生

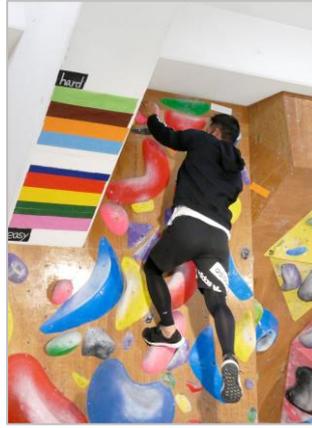
TEL:0859-68-3775

E-mail:h.smiley.sports@gmail.com

NPO法人かほくスポーツクラブ*親子スポーツクライミング体験



ボルダリング:緑のホールド制覇



ボルダリング:ピンクのホールド制覇



ボルダリング:反り返った壁を制覇

令和2年9月27日(日)、倉吉スポーツクライミングセンターで「親子deスポーツ推進事業」が開催されました。(蜜を避けるため2部制で実施)

【参加者】 14家族(大人15名、子ども15名)

【指導者】 福田 宗次郎さん(鳥取県山岳・クライミング協会)

【サポート】 高見 周作さん、山脇昭彦さん・彩さんご夫妻(鳥取スポーツクライミングクラブ保護者)

まず、最初に福田宗次郎さんから諸注意を受けた後、ボルダリングとリードに別れ、それぞれでルール説明を受け順番に体験しました。

ボルダリングでは、2つのスタート方法(ホールドを両手で持つか、右手・左手別々に持つか)があることを教えていただき壁に貼ってあるテープを目印にスタートしました。

今回で2回目なのですが、初回を経験した参加者はコツを掴めて来たのか、難しいコースをクリアされる方が多く驚きました。

リードでは、子どもも大人もかなり高いところまで登られ、見ている人を驚かせました。その中でも、小学校低学年の女の子が長時間ホールドにしがみつき、あきらめず登る姿に感動しました。

デモンストレーションでは、鳥取県内のトップアスリートによる、リードとスピードを披露していただきました。(何度見てもすごい!!)

【デモンストレーター】 リード:奥谷陵矩さん、福本凌大さん

スピード:多月萌々菜さん、河上史佳さん、林かりんさん、浅見陽樹さん

【参加者の声】

・高さの恐怖心はあったけど、一歩ずつ進んでいく、自分の力で登る達成感があり楽しかった。

・子育てでスポーツをする余裕がないので、とても良い機会でした。月に1回でも継続してもらえると嬉しいです。



リード:お母さんも頑張りました



リード:初めてでこの高さ



リード:壁にしがみつくと数十秒

連絡先
NPO法人かほくスポーツクラブ事務局
徳丸 宏則
TEL:0858-24-6465
E-mail:kssougou@ncn-k.net

クラブ紹介コーナー

NPO法人ウルトラスポーツクラブ*マリーシア(ニュービーチサッカー)



マリーシア(ゴールキーパー居ません)



マリーシア(シュート体制)



ビーチテニス



スラックライン



フレスコボール

令和2年9月13日(日)、勝手ヶ浜(境港市)でビーチスポーツ体験会が行われました。

鳥取でビーチスポーツを楽しめるビーチコートが、9月に境港にオープンし、日本で普及中の珍しいニュースポーツがインストラクターの指導付きで体験できます。

体験できるのは、マリーシア(ニュービーチサッカー)、ビーチテニス、スラックライン、フレスコボール等のニュースポーツで、どれも手軽にできる面白いスポーツです。

マリーシア(ニュービーチサッカー)は、NPO法人ウルトラスポーツクラブの金坂さんが考案したもので、縦横15メートルのコートに縦1メートル、横1.5メートルの専用ゴールを2つずつ置き、ゴールキーパー無しの3対3で争います。試合時間は5分ハーフです。

FCアミーゴ(当クラブのサッカーチーム)では、相手の特性を見抜いて出し抜くようなプレーが上達するよう7月頃から取り入れています。

ビーチテニスは、テニス・バドミントン・ビーチバレーボールが組み合わさったようなスポーツで、初心者でもすぐにゲームができるようになります。

ラケットの持ち方、基本ショットを教えていただいた後、参加者で即席のペアを作りゲームを楽しみました。

スラックラインは、高さ30cmほどの位置にウェビングと呼ばれる細いベルト状のラインの上でバランスを楽しむスポーツです。

綱渡りとトランポリンを合わせた様な特徴があります。

バランス感覚と集中力を鍛えることができます。

フレスコボールは、味方同士でボールを落とさずラリーを楽しむスポーツのため、目の前の相手は敵ではなく味方です。

相手の打ちやすい所へボールを打ち返すことが大事になる「思いやり」のスポーツです。

海岸から美保湾にヨットが浮かぶ景色と、海風を感じながらスポーツを楽しめ、身も心もリフレッシュできました。

体験期間は、9月～11月末までの毎週土・日曜日で、それぞれ2回まで無料で体験できますので、是非体験してみてください。

【参加方法】

「junkie GYM」アプリで会員登録



<https://junklegym.com/>



体験したい種目に申込する。

会員登録が上手くできなかった場合は、直接会場に来ていただければ、スタッフが対応します。

連絡先

NPO法人ウルトラスポーツクラブ事務局

金坂 博

TEL:0859-57-5170

E-mail:ultra-cs@sea.chukai.ne.jp

鳥取ユニバーサルスポーツセンター ノバリアの紹介



外観



交流スペース



トレーニングルーム



スポーツ広場



マルチルーム



相談室

当館は、障がい者スポーツ拠点施設として2020年7月11日にオープンしました。

施設の名称である「ノバリア」は、ラテン語で新しいを意味する「Nova」と、イタリア語で旋律・空気を意味する「aria」から考えた造語です。日本語の発音では「No Barrier」とも聞こえ、誰もが障がいなくスポーツを楽しめる、新しい空気をもたらす場所にしてほしいという願いが込められています。

【利用時間】 全館 午前9時30分～午後8時30分

【休館日】 毎週火曜日(祝日の場合は翌日)

年末年始(12月29日～1月3日)

館内施設案内

【交流スペース】

来館者同士の交流の場、休憩スペースとして利用できます。明るく、開放的でカフェのような雰囲気です。

【トレーニングルーム】

有酸素機器や上下肢の機器、各種トレーニングマシンが設置してあります。障がい特性や目的に応じて、スタッフがトレーニング指導を行います。

当面の間は障がい者のみの利用となっています。(障がい者の付添としての利用は可)

【スポーツ広場】

バスケットボール	半面
バドミントン	2面
ボッチャ	2面
風船バレーボール	2面

【マルチルーム】(定員30名)

プロジェクター、スクリーン等が備えてあり、会議や講習会に利用できます。鏡張りになっているので、ダンススタジオとしても利用できます。

【相談室】

医事相談や栄養相談等に利用できます。

全面バリアフリーとなっていて、土足で入館できます。スポーツ用具の貸し出しも行っています。総合型クラブの事業でも是非利用してみてください。

連絡先

鳥取ユニバーサルスポーツセンター ノバリア

〒680-0944

鳥取市布勢146-1

鳥取県立布勢総合運動公園内

TEL:0857-50-1091

FAX:0857-50-1092

Email:tottori-novaria@ts-sawayaka.jp